
プロジェクト ASAF 対応

項目 基本財務諸表：ASAF 会議で議論される項目と目的

本資料の目的

1. 本資料は、国際会計基準審議会（IASB）の基本財務諸表に関するリサーチ・プロジェクトについて、2017 年 7 月に開催される会計基準アドバイザー・フォーラム（ASAF）会議で議論される項目とその目的をご説明することを目的としている（プロジェクトの概況については、別紙参照）。

ASAF 会議で議論される項目

2. 2017 年 7 月の ASAF 会議では、次の項目が議論される予定である。
 - (1) 財務業績計算書における小計の表示（審議事項(1)-3-2 参照）
 - ① 利息及び税金前利益（Earnings before Interests and Taxes; EBIT）
 - ② 経営者業績指標（Management performance measure）
 - (2) 調整後 1 株当たり利益（EPS）（本日の委員会では議題として取り上げない。）
 - (3) 持分法で会計処理されている関連会社及び共同支配企業の純損益に対する持分相当額の表示（審議事項(1)-3-3 参照）

ASAF 会議の目的

3. 2017 年 7 月の ASAF 会議の目的は、次のことを検討するという IASB の暫定決定に対する ASAF メンバーの見解を得ることとされている。
 - (1) 財務業績計算書において EBIT の表示を要求すること
 - (2) 財務業績計算書において、営業利益を定義するのではなく、経営者業績指標の表示を要求すること
 - (3) 財務諸表における調整後 EPS の表示についての追加的なガイダンス
 - (4) 財務業績計算書における持分法投資損益の表示場所について規定すること

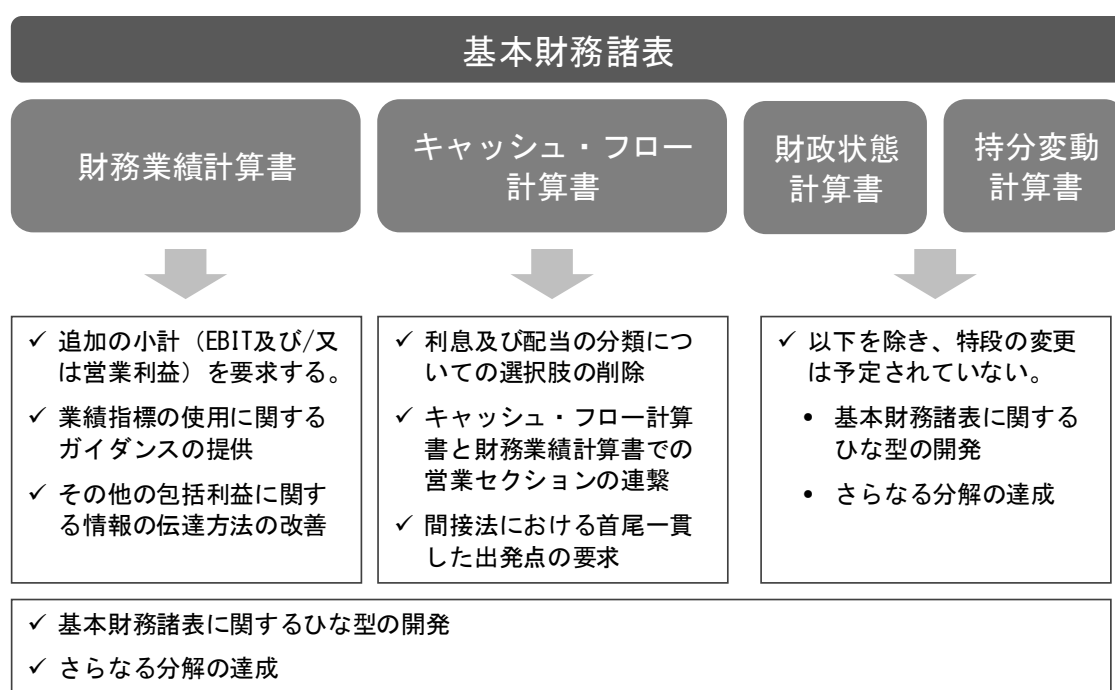
以 上

(別紙)

基本財務諸表プロジェクトの範囲とアウトプット

本プロジェクトの範囲

1. 2016年12月のIASBボード会議で暫定決定されたプロジェクトの範囲は、次のとおりである。



2. 2017年3月のIASBボード会議では、次の議題が扱われた。
- (1) 利息及び税金前利益（Earnings before Interests and Taxes; EBIT）
 - (2) 経営者業績指標（Management performance measure）
 - (3) 基本財務諸表及び注記における情報の分類、集約及び分解
3. 2017年6月のIASBボード会議及び2017年7月のASAF会議では、次の議題が扱われる予定である。
- (1) EBIT（資本構成の記述アプローチ、原則主義的アプローチの開発）

- (2) 経営者業績指標
 - (3) 調整後 1 株当たり利益 (Adjusted earnings per share)
 - (4) 持分法で会計処理されている関連会社及び共同支配企業の純損益に対する持分相当額の表示
4. 今後扱われる予定の議題は、次のとおりとされている。
- (1) 集約及び分解の原則
 - (2) 少数の業種に係る基本財務諸表の例示又はひな型の開発
 - (3) キャッシュ・フロー計算書の的を絞った改善
 - ① 利息及び配当の分類についての選択肢の削除
 - ② キャッシュ・フロー計算書と財務業績計算書での営業セクションの連繋
 - ③ キャッシュ・フローの間接的な調整表について首尾一貫した出発点の要求
 - (4) その他の包括利益 (OCI) に関する情報のより良い伝達方法

本プロジェクトのアウトプット

- 5. IASB スタッフは、本プロジェクトの最初のアウトプットとしてディスカッション・ペーパー (DP) を出すことを 2016 年 12 月開催の IASB ボード会議で提案したが、当該会議の結果、DP と公開草案 (ED) のどちらを公表するのかについては、本プロジェクトの後半に決定することとなった。
- 6. 当該アウトプットは、2018 年初頭に公表される予定である。

以 上